

帯広の森幼稚園  
園長だより



# 春風化雨

帯広葵学園

令和3年度 令和3年6月24日発行 No.8 園長:佐藤敬示

## 緊急事態宣言解除

6月20日まで延長されていた緊急事態宣言が解除されました。1か月、長かったですね。行事につきましては、前号でお知らせしましたとおりの日程で実施する予定です。ワクチン接種が進み、収束に向かうことを願ってやみません。



### リスクマネジメント

最近「リスクマネジメント」という言葉をよく聞くようになりました。この「リスクマネジメント」というのは『危険な場所・危険な活動を何とかする』ことではありません。たとえば・・・



- ・プールには重大事故につながる恐れがある
- ・のぼり棒には落下の危険性がある



ということで、まったくやらせないとしたらどうでしょう。リスクがあることが事故に直結するのではなく、何らかの対応をすることでリスクを軽減することが大切になります。

帯広の森幼稚園では安全管理に対して、職員一人一人が高い意識をもって、日々、施設内の環境や園外の環境を整えています。普段の生活の中で子ども達が安心して過ごせるように、複数担任が連携して仕事にあたっています。人数確認や環境整備は、その基本となっています。

コロナ禍の時代。ご家庭でも、是非もう一度振り返ってみてください。

子どもが手にしたり口に入れたりして危険なものが、子どもの手の届かない所に置いてあるか。子どもが登りそうな家具はないかなど・・・

幼稚園の送迎や、休日の外出の時の安全管理も大切です。当たり前のことですが、



- ・家から出る時にはマスクをつける。
- ・外では必ず手をつなぐ。
- ・道を歩く時には、子どもは壁側・大人は車道側。
- ・信号がある横断歩道では赤は渡らない。



言葉だけではなく、態度でも教えてあげたいですね。

最近では、信号無視をする大人が増えてきています。子どもの模範となるのが身近な大人です。大切な子どもの命・安全を守るために、コロナ禍を無事に乗り切るために、まず大人が率先してルールやマナーを守っていきましょう。

# 学びながら遊ぶ

# 遊びながら学ぶ



先週、シルフでYouTubeのアドレスをお知らせしました。元気いっぱいの『朝の自由遊びの様子』をご覧ください。上の写真をご覧ください。

どろ遊び・鬼ごっこ・竹のぼり・虫探し・木の実集め・アスレチック・ままごと・キャンプごっこ・ブランコなどなど・・・子ども達は自主的に遊びに向かっています。

「のびのび遊べる」場の条件として、

- ①自然（水、土、植物、日差し、風、石、生き物など）に触れて遊ぶことができる。
- ②子どもが扱いやすいたくさんの素材がある
- ③つくったり、壊したりができる
- ④選択肢がある
- ⑤適切な危険にふれることができる などが挙げられるそうです。



今年のテーマは遊び！



本園はもともとある恵まれた自然環境に加えて、先生方の指導と工夫で5つすべての条件を満たしています。行事などは、まだまだ「制限」「条件」が厳しく、例年通りには行えないのですが、遊びを含めた『日常生活』を少しずつ取り戻そうと努力しているところです。

今後も感染・安全対策を緩めることなく、日々の指導を続けていきます。

## 新年度クラス集合写真

感染拡大防止の為、延期していた『クラス集合写真』の撮影を行います（やっと撮れますね）。

※当日は行事の為、制服着用となります。

※欠席の際には、撮り直し・画像合成などはできません。（申し訳ございません。）

年少さん：7月20日（火）の1学期終園式の日

年中・長さん：8月18日（水）の2学期始園式の日

